

白石地区 地域づくり 協議会だより

白石地区地域づくり協議会

〒753-0046
山口市本町1-1-25
白石地域交流センター内
TEL 083-941-5959
FAX 083-941-5966



<http://www.y-shiraishi.net/>
携帯・スマホからは上のQRコードでアクセス!

2016年2月1日号 Vol.32



瑠璃光寺 (撮影/吉村哲朗)

—自主防災組織モデル事業— 発災実働訓練を実施しました

1月17日(日)、荒高町内会と西門前新橋町内会が合同で、震度5強の南海トラフ地震を想定して発災実働訓練を実施されました。参加者は地域の方々約170名。対策本部を長寿寺に設置し被害確認、安否確認、情報伝達、消火作業、要配慮者対応、救出搬送等の訓練を実施されました。



対策本部を設置!

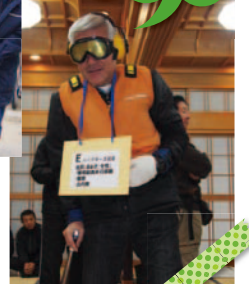


放水作業



救出・搬送作業

高齢者疑似体験器具を着けて訓練



消火器の使い方



無事を知らせる黄色いタスキ

白石地区に「防災士」が新たに誕生しました!

山口市消防団副団長の三浦博司氏が日本防災機構から「防災士」として認証されました。これで白石地区の「防災士」資格取得者は7名になりました。



三浦博司氏



「SLクリスマス号」おもてなし作戦決行!

平成27年12月20日(日)、臨時列車「SLクリスマス号」を約100名の方々でお出迎えしました。参加して下さった皆様ありがとうございました。



今年もたくさんのサンタが集結!?



朝日新聞掲載記事

朝日新聞に掲載されました!
サンタクロースの駅長さん

お菓子どうぞ♡

第2次(平成28年度～32年度)白石地区地域づくり5カ年計画が確定しました!!

白石地区住民の皆様へ

白石地区地域づくり協議会 会長 吉村 哲明

「第2次地域づくり計画が確定するまでの経緯」についてご報告いたします。

平成26年9月26日、理事会において、「第2次地域づくり計画策定委員会」(以下、「委員会」といいます。)の設置が承認され、同年10月22日、理事会において各会員団体から推薦をいただいた26名の委員が選定され、委員会が発足しました。

そこで、私は町内会連合会の内山清輝理事を委員長に指名するとともに委員会に第2次地域づくり計画の策定を付託いたしました。

その後、委員会において、まずは地域課題を明らかにするために、住民座談会やアンケート調査を実施され、それらの結果から見えてきた課題とその解決手段(事業)を検討されるなど、延べ69回の検討会議等が重ねられ、本年1月7日、委員会において内山委員長から私に第2次地域づくり計画(案)の答申がなされました。

そして、本年1月8日、理事会および臨時総会において、承認され、確定しました。

以下、その概要です。



内山委員長から吉村会長へ答申書が手渡されました

計画の概要

◎計画の基本理念 「みんなでつくる住みよいまち・白石」～住みよさナンバーワンの地域を目指して～

成果指標 白石を住みやすいと感じた地域住民の割合 **47.9% → 70%**

計画の概要一覧表					
計画の基本方針				分野	事業名 (仮称)※
現状課題	将来像	成果指標	取組方針		
地域づくりに参加する地域住民が少ない。	地域課題解決のための方向性を地域住民が共有しており、地域活動が積極的に展開されている。	地域づくり協議会の活動内容の認知度 13.7% → 30%	<ul style="list-style-type: none"> 広報活動の充実により、地域づくり協議会の取組み等、認知度の向上を図る。 地域づくり活動に参加する地域住民の増加を図る。 	地域振興	広報活動
		地域づくりに関する方向性や情報共有度 20.4% → 40%		地域振興	地域づくり参加促進
地域住民同士の連帯感や絆が希薄になっている。	地域住民同士の連帯感や絆が深まり、地域活動における協力体制が整っている。	近所づきあいで日常生活や地域づくりに関する情報交換をしている人の割合 29.8% → 40%	<ul style="list-style-type: none"> 観光資源等地域財産の活用やお祭りなどの伝統文化活動を通じて、子どもからお年寄りまでの三世代間やお年寄り同士など同世代間の地域住民同士の交流を図る。 いじめ等、差別のない明るい地域を目指す。 	地域振興	J R山口駅活性化推進
		地域で助け合いができていると思う人の割合 6.5% → 30%		地域振興	ふるさとまつり参加促進
		いじめ等人権問題の普及・啓発活動の必要性が高いと思う人の割合 14.6% → 30%		地域福祉	西京老人大学
				地域福祉	※新規事業 人権啓発活動推進
日常的に運動に親しむ地域住民が少なく、健康と食に関する意識が低い。	日常的に運動に親しみ、健康と食に関心のある心身ともに健康な地域住民が多い。	週1回以上運動している人の割合 47.7% → 60%	<ul style="list-style-type: none"> スポーツイベントや講習会、健康講座等を開催し、日常的に運動する機会やきっかけを提供する。 病気予防に役立つ食の提案を行い、地域住民の健康増進を図る。 	地域福祉	ノルディックウォーキング講習会
		とても健康だと思う人の割合 9.4% → 30%		地域福祉	チャレンジ健康づくり
		健康意識の向上を図る必要性が高いと思う人の割合 9.6% → 30%		地域福祉	グラウンドゴルフ大会
				地域福祉	健康食のおススメ
				地域福祉	健康講座

計画の基本方針				分野	事業名 (仮称)※
現状課題	将来像	成果指標	取組方針		
環境美化活動に参加している地域住民が十分でなく、白石小学校周辺や河川など、環境が美化整備されていない場所がある。	多くの地域住民が環境美化活動に参加しており、地域内すべての環境が美化整備されている。	環境美化活動に参加している人の割合 42% → 60%	町内会や白石小・中PTA等関係団体が連携して、山口の中心地としての名にふさわしい環境や景観を保全するために、環境美化活動や景観保護活動を積極的に推進する。	環境づくり	白石小周辺の環境美化推進
				環境づくり	社会奉仕の日清掃活動
				環境づくり	※新規事業 河川愛護モデル
自主防災組織が少なく、防災活動に参加している地域住民が少ない。	自主防災組織が増加し、多くの地域住民が防災活動に取り組んでいる。	一年間に防災活動に参加した人の割合 8.6% → 50% 自主防災組織設立 1団体 → 7団体	地域住民一人ひとりが防災意識を高め、身近に防災活動に参加できるような、人づくり、組織づくりを推進していく。	安心安全	自主防災組織モデル
				安心安全	夏休み防災訓練キャンプ
児童・生徒の登下校時における安全確保や交通事故防止・防犯活動に参加する地域住民が少ない。	多くの地域住民が積極的に交通事故防止・防犯活動に参加しており、交通事故や犯罪被害が抑止されている。	地域の防犯活動に参加している人の割合 5.4% → 30%	地域住民が交通安全活動、防犯活動に積極的に参加する仕組みを整え、安心安全な地域社会を目指す。	安心安全	危険防止看板設置
				安心安全	反射鏡設置
				安心安全	安全パトロール
地域の歴史・文化や史跡・名所をよく知っている地域住民が少なく、歴史文化等に触れる活動に参加している人が少ない。	地域の歴史や文化、史跡・名所をよく知っている地域住民が増加し、歴史文化等に触れる活動に参加している人が多い。	地域の歴史・文化をよく知っている人の割合 3.8% → 30% 歴史文化にふれる活動に参加している人の割合 10.8% → 30%	地域住民の郷土の誇りや郷土愛を育むため、地域固有の歴史や文化、史跡名所を地域住民同士が共有し、保護、保全、継承、掘り起こし、PR活動を積極的に推進する。	地域個性創出	お宝写真展
				地域個性創出	明治維新150年記念

※各事業については、主催団体から起案され、5月20日の理事会を経て、5月27日の総会で承認・決定されることとなります。

プロジェクト事業※			
分野	事業名	事業内容	事業成果指標
地域振興	白石地区町内会親睦大運動会開催支援	<ul style="list-style-type: none"> ・競技に参加できない住民向けの催物の検討 ・競技種目の検討（参加し易く、見て楽しい種目の増） ・町内対抗に参加できない地区住民の参加方法の検討 	参加町内会数 18町内 → 30町内 参加者数 1200人 → 1500人
地域振興	町内会親睦支援	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動による周知 	親睦会開催町内会数 10町内 → 20町内
地域振興	白石フェスティバル開催支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもやお年寄りによる企画・運営参加の検討 	スタッフ数 200人 → 300人 来場者数 3000人 → 5000人

※「プロジェクト事業」とは地域全体で取り組むべき事業であり、地域づくり協議会の直接事業ではないものの、地域づくり交付金で補助、支援する事業です。

住民説明会開催のお知らせ

第2次白石地区地域づくり計画5カ年計画について、住民説明会を開催します。多くの皆様のご来場をお待ちしております。申込みは不要です。

●日時：3月5日(土) 13:30～

●場所：白石地域交流センター 2階講堂

申込
不要

第21回 薩長同盟から150年② ～尊王攘夷と公武合体～

「一、戦自然も我勝利と相成候気鋒有之候とき、其節朝廷へ申上、いざもしかして 忖度きぼうこれあり尽力之次第有之候との事一」

長州藩と薩摩藩。このふたつの雄藩が手を結んだ「薩長同盟」。この密約によって、長州藩は慶応2年(1866)に始まった「四境戦争」で幕府軍に勝利。やがて長州・薩摩両藩は、「討幕」へと動き出します。

しかし、この同盟締結まで、両藩は互いに異なる政治路線を歩んでいたのです。

長州藩を中心とした尊王攘夷運動

文久3年(1863)前半期、京都では長州藩を中心とする尊王攘夷派の志士たちと、彼らの方針に同調する公家・さんしやうさねとみ三條実美らが手を結び、尊王攘夷運動は最盛期を迎えていました。

こうした中、彼らは上洛中の将軍・とくがわいえもち徳川家茂に攘夷実行期限を迫るなど、幕府側を徹底的に困却させたのでした。

また、3月11日には孝明天皇が攘夷祈願のため賀茂神社へ行幸。家茂もこれに随います。この日、現役の天皇が御所の外に出るのは約200年ぶりであったため、多くの民衆が見学に訪れました。この時、尊攘派は、天皇の行列に将軍を随行させることにより、天皇が将軍よりも権威があることを、視覚的に理解させようとしていたのでした。

そして、5月10日、長州藩の久坂玄瑞らは、幕府の定めた攘夷実行期限に従い関門海峡(下関市)でアメリカ商船を砲撃。その後もフランス、オランダ軍艦を追い払い、勝利の喜びにわいたのでした。



長州砲が関門海峡をにらむ(下関市)

薩摩藩の公武合体論

一方、薩摩藩のリーダー・島津久光は、尊王の志は理解していましたが、攘夷のような過激で軽率な行動には反対でした。また、薩摩藩士が他藩の尊攘派の志士と接触することも固く禁じていました。

「公武合体」の政治路線を掲げる彼は、朝廷の伝統的権威と、幕府および諸藩を結びつけて幕藩体制の再建を画策。京都政界へ乗り出そうと考えていたのでした。

文久2年(1862)4月23日、久光は、藩内の尊攘派の志士たちを弾圧します。彼は、使者として、京都の寺田屋に、薩摩藩士の奈良原喜八郎をはじめとする9人の剣客を送り込み、そこで薩摩藩尊攘派の有馬新七らを説得しますが、結局、それに応じなかったため、新七ら7名はそこで斬殺されたのでした。世にいう「寺田屋事件」です。この事件によって、薩摩藩内の尊攘派勢力は壊滅状態となったのでした。

健康講座 開催のお知らせ

日時：2月20日(土) 14:00～16:00
※体組成計等による計測がありますので
13:30までにお越しください

場所：白石地域交流センター 講堂(2階)

内容：健康づくりに必要な運動を中心に

楽しく出来るストレッチ～筋肉のトレーニング

講師：山口県立大学社会福祉学部特任教授 青木邦男氏

対象：原則として、白石地区在住または勤務の概ね65歳以上の方

定員：50名(申込先着順)

申込：白石地区地域づくり協議会(TEL 941-5959)

白石地域交流センター(TEL 922-0381)

受講料
無料



男性料理教室のお知らせ

野菜がたくさんおいしく食べられるレシピ

日時：2月27日(土) 10:00～13:00

場所：白石地域交流センター

調理実習室(2階)

対象：男性の方ならどなたでも!

定員：20名(定員になり次第締め切ります)

参加費：200円(当日ご持参下さい)

持参品：エプロン、三角巾(バンダナ)、手拭用タオル

申込：2月22日(月)までにお申し込みください。

白石地域交流センター(TEL 922-0381)

